

1. 略歴

- 1985年7月 北京大学中国語言文学系古典文献専攻卒業
1988年7月 北京大学中国語言文学系古典文献専攻修士課程修了
1988年7月 北京大学中国語言文学系・古文献研究所助手
1990年8月 北京大学中国語言文学系・古文献研究所専任講師（～1995年3月）
1994年2月 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫訪問研究員（～1995年1月）
1994年8月 東京大学東洋文化研究所外国人研究員（～1995年3月）
1998年3月 東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻（東アジア思想文化専門分野）
博士課程単位取得退学
1998年4月 文部省学術振興会特別研究員 PD
1999年4月 日本女子大学人間社会学部文化学科専任講師（～2003年3月）
2001年4月 東京大学大学院人文社会系研究科博士（文学）学位取得
2003年4月 日本女子大学人間社会学部文化学科助教授
2004年4月 国文学研究資料館研究部助教授
2007年4月 国文学研究資料館研究部准教授
2013年4月 国文学研究資料館研究部教授
2017年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国書籍史 東アジアの書籍交流史 日中文化交流史

b 研究課題

1. 明清時代の中国地方の商業出版について
2. 江戸時代の詩経学と博物学
3. 江戸～明治時代の日中学術交流

c 概要と自己評価

東アジアの文化交流を視野に入れながら、日本と中国の書籍文化と学術交流史を研究している。本期間では『古逸叢書』の研究、清国駐日公使館随員孫点の日記と詩文集などの自筆稿本の整理研究、羅振玉の日本滞在中の文化活動などのテーマを中心として研究を進め、さらにまた、江戸時代の中国文化の受容と多元文化とに關係する事例として、詩経学の発展に注目し、「詩経図」および博物学者たちによる詩経研究の成果を研究してきた。

d 主要業績

(1) 論文

- 陳捷、「和刻本の変種——中国に伝わった日本の版木とその摺本について」、東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要『文化交流研究』31号、pp.27-36、東京大学文学部次世代人文学開発センター、2018.3
陳捷、「邁宋書館銅版『西清古鑑』の出版について」、早稲田大学中国古籍文化研究所編『中国古籍文化研究 稲畑耕一郎教授退休記念論集』、pp.101-113、東方書店、2018.3

(2) 学会発表

- 国際、陳捷、「中国人外交官が見た明治日本—清国駐日公使館随員孫点の日記を中心として—」、東アジア文化交渉学会第8回大会、関西大学東西文化研究所、2016.5.8
国際、陳捷、「羅振玉旅日時期刊印日蔵漢籍事業概観」、「学人羅振玉研討会」、中国・旅順博物館、2016.10.19-20
国際、陳捷、「和刻本の変種：流入中国的日本版片及其印本」、「東亜古代雕版印刷与版片國際學術研討会」、中国・揚州雕版印刷博物館、2016.10.21-26
国際、陳捷、「十九世紀日蔵漢籍回流与広州」、「2016年古籍版本目録学國際學術會議」、中国・中山大学図書館、2016.11.8-9
国際、陳捷、「接受・融合・創新：從『毛詩品物圖考』看十八世紀日本『詩経』名物學研究的特色」、北京大學第一屆古典學國際學術研討會「中國古代語言、文學和文獻研究的古典學視野」、北京大学人文學苑、2017.11.18-19
国際、陳捷、「關於江戸時代的『詩経圖』」、「經學文獻學國際學術研討會」、北京大学中関新園、2017.12.21-24

(3) **研究テーマ**

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 C、陳捷、研究代表者、「明清時代における濬湾（江西金溪）の出版業に関する総合的研究」、2017～

3. 主な社会活動

(1) **他機関での講義等**

「關於十九世紀後半葉日藏漢籍回流中国的商業渠道」、中央研究院近代史研究所檔案館中型會議室、2016.12.5

「和刻本の変種：清末流入中國の日本版片及其中国印本」【臺大中文系學術專題演講】、台大文学院會議室、2016.12.6

(2) **学会**

日本中国学会、中国社会文化学会